広島市文化財団ベンチマークス(江波山気象館)令和4年度結果

使命 (ミッションステートメント)		江波山気象館の役割	・広島市の科学館の一員としての気象専門博物館 ・子どもが安心してすごせる居場所づくり ・市民が社会貢献する場の提供 ・被爆に関する調査研究と平和学習の支援		
		基本方針	・天気予報、気象観測やさまざまな現象、地球温暖化など"気象"に関する知識の提供・気象に関わる"科学"の体験の場の提供・大雨や台風、地震や津波などの"防災・減災"に関する知識の提供・気象台寄贈資料などの活用をもとにした"気象と歴史"に関する知識の提供・昭和初期の館長営繕と被爆建物の保存活用など"建物遺産"に関する知識の提供・破場当時の気象や気象台による原爆被害調査など"原爆と気象"に関する知識の提供		
		事業の実施方針	・直接館を訪れることができない利用者に気象館事業への参加機会を提供するとともに、市や県・国などのイベントに協力や参画をする「館外事業」の実施・館の持つ事業実施ノウハウと気象関連団体との連携による気候関連災害や自然災害に対する理解と対応力を向上させる「SDGs」に関する取組の推進・気象学史的に貴重な資料の活用や広島市指定重要有形文化財である昭和初期の鉄筋コンクリート建物を活用した「気象学史的資料」の活用・核兵器禁止条約発効や黒い雨被害への援護対象の拡充などの社会情勢を見据えた「平和教育」の支援 及びこれらを効率的に行うための「デジタル化」の推進		
事業領域	領域目標	事業	事業目標	目指す成果(業績指標)	目標値(達成率)
教育普及	気象をメインテーマに、 自然・科学・歴史・文学・ 芸術など様々な視点から、人間と世界のつな がりを示す	展示事業		気象や科学に興味を持ち、利用 者が楽しいと感じること	80%→ 97%
			気象台及び気象館の歴史を 伝える資料の活用	所蔵する資料を活用して年間5 回以上の事業を行うこと	100%→ 80%
		講座・教室事業	参加者の知的好奇心を高 め、科学する心を育む	気象や科学に興味を持ち、楽し かったと感じた参加者の割合	80%→ 92%
		気象事業	よりわかりやすい気象情報 の提供	HPや、SNS、映像配信等で発信 する気象情報を利用して、わかり やすいと感じた利用者の割合	80%→ 89%
		デジタル化の推進	気象や、防災・減災、気象や 館の歴史等今期重点項目に 関するデジタルコンテンツの 作成	デジタルコンテンツを年間10件以 上発信すること	100%→ 100%
調査研究	気象等に関する研究と 学習の拠点となる	資料収集·保存管理事 業	気象資料等の、適切な整理・ 保存・管理を行う	所蔵する気象資料等を年間10件 以上整理すること	100%→ 100%
		調査研究事業	気象資料等を活用した調査 や展示、学習プログラムの 作成	気象に関する調査等の成果の公表・発表を年間15件以上実施すること 展示や学習プログラム等の新規	100%→ 80%
				作成を年間5件以上行うこと	100%→ 100%
連携学習支援	学校教育や地域活動等 と連携して、事業内容 や利用者の多様化を図 る	学校教育や地域活動等 との連携	ニーズの把握と利用形態に 即した対応	次回も江波山気象館を利用したいと感じた教師等の割合	80%→ 99%
			市民の学習活動の支援及び	出前授業等の後に面白かった、 興味が高まったと答えた参加者の 割合	100%→ 100%
			の連携争果の美施	連携先の担当者が当館との連携 が有意義であったと感じた割合	100%→ 100%
		学芸員実習·職場体験	博物館の理解を深め、将来 の博物館等で活動できる人 材の育成	実習等を通じて博物館への理解 や関心が高まったと感じた実習生 の割合	100%→ 100%
市民活動支援・協働	ボランティア活動の場を 提供するとともに、博物館活動の可能性を広げ る	ボランティア養成・活用	ボランティア活動を通しての 学習の機会・場の提供	事業にかかわってもらおうと依頼 し達成できた実施率	100%→ 87%
				ボランティア活動を通して参加の 目的が達成できた割合	80%→ 100%
				ボランティアからの自発的な要望 (提案)により実現した割合	100%→ 100%
施設管理	ホスピタリティあふれる 博物館	来館者サービスの向上	親しまれる博物館の実現	スタッフの対応について好感を 持った利用者の割合 ミュージアムショップについて、品	100%→ 97%
			利用者ニーズの把握と実現	揃え、価格帯について満足した人 の割合	70%→ 63%
				施設の利用について不満を感じ た利用者の割合	10%以下→ 7%
				利用者ニーズに対する実現割合	100%→ 33%